

給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書（特別徴収継続記載例）

※市町村処理欄
1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

令和××年○○月△△日提出 渋川 市長 様 給与支払者（特別徴収義務者）		〒012-3456 ○○県××市△△1-2-3 フリガナ カブシキガイシャ マルバツショウジ	特別徴収義務者 指定番号 12345 宛名番号 1	※市町村ごとに異なります
氏名又は名称 株式会社 ○×商事 代表者の職氏名印 代表取締役 特徴 太郎		連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号 代表取締役 特徴 太郎	課・係 人事課人事労務係 氏名 特徴 花子 電話 000-000-0000 （内線 123）	
給与所得者 受給者番号(整理番号) 123456 フリガナ 氏名 特徴 一郎 トクチョウ イテロウ 特別徴収税額(年税額) 140,000 円 徴収済額(イ) 6 月から 9 月から 未徴収税額(ア)-(イ) 35,600 円 104,400 円 異動年月日 ××・8・31		異動の事由 1. 退職 2. 転勤 3. 合併 4. 休業 5. 長	異動後の未徴収税額の徴収 ① 特別徴収継続 2. 一括徴収 (1月以降は必須) 月分で納入	退職した年の1月分から退職時までの給与支払額 1,200,000 円 控除社会保険料額 60,000 円

8月末で退職する給与所得者が、9月末から新しい会社で特別徴収する

◎給与のなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。

転居等により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、「個人番号」は、前勤務先では記 以後で、特別徴収の継続の希望がないため	徴収予定 徴収予定月日 徴収予定額 円 徴収予定額合計(上記(ウ)と同額) 円
--	--

相続人の氏名等 氏名 続柄 住所	※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、次のいずれかの理由を必ず選択してください。 1 (普B) 他の事業所で特別徴収(例:乙欄適用者) 2 (普C) 給与が少なく税額が引けない(例:年間の給与支給額が93万円以下) 給与が不定期 与の支払が毎月でない 者 業主のみ対象)
---------------------------	---

新しい会社で特別徴収を開始する月(9)

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※新規事業所の場合は記入不要です。) 54321	課・係 庶務課社員係 氏名 特徴 進 電話 111-111-1111 (内線 222)	新しい勤務先では 月割額 11,600 円を 9 月分から徴収し、納入します。 新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。 納入書 要・不要	※市町村記入欄
新しい勤務先の住所(居所)又は所在地 〒654-3210 ○○県××市△△1-2-3 フリガナ マルバツドンサン カブシキガイシャ 氏名又は名称 ○×不動産 カブシキガイシャ 個人番号又は法人番号 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 代表者の職氏名印 代表取締役 特徴 次郎	連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号		

【提出先】 〒377-8501 渋川市石原80番地 渋川市役所総務部税務課市民税係

御注意
 1 黒のボールペン又は黒のペンで記載してください。
 2 転勤(転職)等による特別徴収届出書に記載された宛名番号を記載してください。
 3 「給与所得者」の欄には、「給与所得者の個人番号」は、前勤務先では本人から番号の提供を受けて記載してください。
 4 新勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所(課税地)の市町村長に送付してください。一括徴収すること義務づけられています。